

生徒たちの活躍

学園理事長 小林素文

入学式

二〇一二年度、学園創立一〇八年目の年度も、入学式で始まりました。

一年前の三月十一日の東日本大震災からまだ一ヶ月もたっていない中で挙行された昨年度の入学式では、何はともあれ、例年通り、普通に式が挙行されることに感謝をしたものでした。

あれから一年、原発やがれき処理の問題は解決しておらず、仮校舎の学校も多くある中で今年度の入学式は、やはり、普通に新入生を歓迎しお祝いできることをありがたく思うと共に、被災地の一刻もはやい復興を願うものとなりました。

中学校の入学式は、付き添いのご父母あるいはおじいさん、おばあさんの華やいだ嬉しそうな雰囲気とは対照的な、真新しい制服の新入生の張りつめた表情がとて微笑まし

く感じられました。

高等学校も入学式を行います。皆同じ中学出身、制服も変わることがない中高一貫教育ならではの式ですが、九年間の義務教育を終え、思いを新たにす節目となる式です。「高校生だからできること、高校時代にしかできないことに挑戦し、十年先、二十年先に役立つ人材に成長していつてほしい」との校長先生の式辞に真剣に聞き入る生徒の姿は張りつめていた三年前から大きく成長した証であり、頼もしく思われました。



桜花吹く入学式

金環日食

五月二十一日朝、突如「キヤー」「すーい」の歓声が、中高校舎から聞こえてきました。

名古屋では九三二年ぶりの金環日食が始まったからです。当日の天気予報は曇りで、見られる可能性は低かったにもかかわらず、その時間が近づくにつれ雲が切れていき、見事な金環日食が見られました。

淑徳生の良さは、単に「キヤー」や「すーい」だけでなく、事前に学習をした上で、この壮大な三九秒間の金環日食を観察していたことです。

月と太陽が一体化した姿を見る地球人たち。私たちが自然に生かされていることを実感した一瞬でした。



事前学習を報じる中日新聞

快挙

中学校水泳部が「第五二回 全国水泳大会」において、二十六年ぶりの総合優勝を果しました。

主将の中野さんは次のように語っています。「普段でも一日に四千〜六千メートルを泳ぎ、陸上トレーニングを行うなど練習に励みました。水泳は個人競技のように思われがちですが、日々の練習を全員で頑張り、その成果が大会本番で結集され、フリーリレー第三位、メドレーリレー第一位を勝ち取ったことで、総合優勝を果すことができました。」

生徒たちの努力が結実した素晴らしい快挙です。

十月五日、その優勝祝賀会が、愛知県水泳連盟、PTA、同窓会、学園関係者が集い、開催されました。

当日の主役、水泳部の生徒たちは、衣替わりしたばかりの紺の制服も凛々しく、立派にお礼の挨拶をするなど、誇らしい気分になってくれました。

祝宴で一番嬉しそうにしていたのが、水泳部のOG「志ぶき会」の人達でした。淑徳の水泳部は、四人のオリンピック選手を輩出するなど誇るべき伝統がありますが、当日は、メキシコオリンピックに出場した窪田（旧姓 小林）美和子さんも駆けつけてくれました。

若いこれからを担う澁刺とした選手たちに頼もしさを感じるとともに、学園の百年をこえる伝統の大切さ、ありがたさを感じ入る祝宴でした。



お礼の挨拶をする主将の中野さん

んは全国総体への出場を果しています。水泳部をはじめ、各種運動部が、中高一貫体制となってもなお活躍し、文武両道の愛知淑徳の伝統が継続されていることを嬉しく思います。また、吹奏楽部、ギターマンドリンクラブ、演劇部、放送部など、文化系クラブが各種大会で優秀な成績をおさめていることも誇るべきことです。



バスケット部なども頑張っています

クラブの活躍

運動クラブは、水泳部だけでなく、バドミントン、ソフトテニス、卓球、バスケットボールなども地区予選を突破し、県大会に出場し健闘しました。また、陸上部の北野さ

皆で、一人で、

愛知淑徳の学園祭は、生徒全員の手作りの祭典で、女子校ならではの、男子生徒に頼ることなく、力仕事も自分たちでやり、五ヶ月もの準備をし、一瞬で過ぎ去る日のために全力を尽します。

今年の高校の芸能祭では、三千人もの来場者があり、生徒たちもやりがいがあったことでしょう。こうした行事を通じて、生徒たちに仲間意識が生まれ、友達の輪が広がっていくことは、中等教育の最も大切なことであり、本校の学園祭の質の高さは、その成果であると誇らしく思います。

の時期に育んでもらいたいと願います。

入学試験 そして 卒業式

生徒と呼ばれる中学・高校時代は、児童の殻を出て、大人へと近づいていく最も大切な時期です。クラブ活動、学園祭などを通じ、お互いに切磋琢磨し、仲間意識を育み、友達の輪を広げてもらいたいと思います。

年が明けると、入学試験があります。学校にとっては、新たな学園一〇九年目の生徒を選抜する試験です。昨年度は、志願者一〇二三人、実質競争倍率は1.8倍でした。今年もまた、本校を希望する受験生が多く集まることを期待しています。

淑徳での六年間を終え、卒業していく生徒たちにとっては「なりたい自分」への第一歩となる大学の入学試験です。生徒一人ひとりの希望がかなえられることを祈ってやみません。

大道具も立派な芸能祭



同時に、この時期は大人になった時の「なりたい自分」を思い描き、そのために今すべきことを着実に積み重ねていくときです。なりたい自分を自分自身で考え、自分自身の可能性を、自分自身の力で切り開いていくという、人に頼ることのない強さもまたこ

学校の一年の終りは卒業式です。毎年繰り返されるお馴染みの風景ですが、年々に、素直に感動するのは、毎年咲く桜の花に心打たれるのと同じなのでしょう。私が大好きな清崎敏郎さんの句「卒業という美しき別れかな」のごとく、愛知淑徳の百年以上続く、それぞれの美しき別れに思いを馳せ、今年の卒業生に心よりの祝福をおくりたいと存じます。